

01 開催概要

東部まちづくりワークショップとは、東部地域のお住まいの方、東部地域のまちづくりに興味のある方にご参加いただき、現在策定中の東部振興構想に繋がるアクションのアイデア創出の取組です。

全3回のプログラムによるワークショップを、中部大学の連携・協力のもと、小牧勤労センターで開催中です。総合ファシリテーターとして、全体の監修を中部大学 工学部 都市建設工学科 磯部友彦教授に務めていただいております。

今回は第1回の様子をお伝えします。

日時：2021年7月17日（土）
13:00～15:30

会場：小牧勤労センター
参加者数：39名



当日のプログラム

第1回 まちを知る
(東部地域ってどんなところ?)

- オリエンテーション
- 東部地域を知る (クイズ)
- ディスカッション
(感じたこと、考えたこと)
- ワーク
できる・やりたい・やってほしい
- ふりかえり・総括

02 オリエンテーション

山下市長と、中部大学磯部教授が開会に当たり挨拶をし、ニュータウンには課題と魅力が双方あること、若い人たちやこれから世代をいかに呼び込んでいくか、行政だけでなく市民や住民の皆さんなどとヴィジョンを共有していくことが重要であることを確認しました。



03 東部地域を知る (クイズ)

東部地域のまちの将来像など小牧市東部まちづくり審議会で議論されている内容や東部地域の特徴など、クイズも交えながら共に学ぶ機会を持ちました。ちなみに次のクイズ、正解はどれでしょうか？ (答えはページ右下に記載)

中学生タウンミーティング
問題4
中学生タウンミーティングでは、東部地域の良いところ、改善したいところについて、議論がされ、改善したい点として、街灯が少なく、夜道がこわいなどの意見が多くありました。
このタウンミーティングの後、実際にこの課題を中学生発案により、地元の地域協議会ぐるみで解決を図りました。
その取組は以下のどれでしょうか？

- ① 地域協議会に頼み、街灯を設置してもらった。
- ② 地域協議会ぐるみで、地域住民の自宅の門灯をともし、安全な夜道を確保した。
- ③ 地域協議会から中学生に懐中電灯をプレゼントしてもらった。



04 ディスカッション

共に学ぶ機会の中で感じたこと、考えたことをそれぞれ持ち寄って、ディスカッションをしました。議論を促進する進行役(ファシリテーター)として、中部大学の学生の皆さんに活躍して頂きました。



沢山の意見を頂きましたが、東部地域の課題として、高齢化が進行することへの不安や、公共交通の利便性の向上を求める声、空き家対策の必要性などが聞かれました。

その一方で、子どもが遊ぶことができる場が多いこと、桃など代表される農産物が認知されていること、地域住民の方が主体的に活動していることなど、他の地域にはない魅力が存在していることが参加者同士で共有されていました。

05 ワーク (できる・やりたい・やってほしい)

皆さんに、①東部地域で自分や身近な人たちで「できる」こと、②東部地域で他の人たちと協力して「やりたい」こと、③自分はやりたくないけど誰かに「やってほしい」ことを挙げてもらいました。



39名の参加者が集まると、様々な「できる」や「やりたい」が見えてきました。

たとえば、外国人や高齢者の相談に乗れる方、仕事で情報発信をしている方、子ども等の見守り活動ができる人などがいました。

「やりたい」の項目では、小中学生を対象とした防犯活動をしたい方、高齢者の見守り訪問をしたい方、祭りを盛り上げたいといった方もいます。一人では難しいことでも、仲間を見つけることできっかけ作りができます。

「やってほしい」の項目には、公共交通の充実など、市と共に取り組んでいくべきことがあるほか、歩道の雑草処理など、参加者の「できる」「やりたい」の組合せで取り組みそうなものもありました。

【できる】

- ・隣の家の草取り
- ・なんでもお手伝い

【やりたい】

- ・道路の草刈り
- ・ゴミ拾い活動

【やってほしい】

- ・歩道の雑草処理
- ・ゴミが落ちていないまちづくり



06 参加者のみなさんが感じたこと

参加した皆さんから、こんな感想がありました。(一部抜粋)

- ✓ 私たちの活動に協力頂ける方が多そうなので次回以降楽しみます。
- ✓ 若い人のやる気を感じた。
- ✓ いろいろな事をできる、やってみたい人が多くとてもうれしかった。
- ✓ 小牧市東部の問題や良いところについて考えている人が多くいた
- ✓ 一人では解決できなくても誰かとなら解決できる問題が多く存在するのも
- ✓ 問題改善への意欲がある人が多いため、これから東部地域は良い方向へと発展していくと感じた。
- ✓ 「できる」を書くコーナーであまり書くことが無かったので人生経験をつんで「できる」自信を持って言えるようになりたい。
- ✓ 課題のフォーカスが難しいと感じた。
- ✓ やりたい・できるを、やってほしいにつなげる組織がほしい。
- ✓ 若い学生さんの話が聞けてとてもしっかりと考えをまとめて意見を言っていて、すごいなと思ったし若い人の力に頼もしさを感じた。
- ✓ 大学生の参加が嬉しい。外から見た意見がとても大切と思っています。
- ✓ 思っているだけではなく発信すること(発信しやすい環境)が大事。